

横浜市における自助・共助を 促進するための取組

令和3年2月8日

横浜市危機管理室長
宇都木 朗

横浜市（令和2年4月1日時点）

人口:3,753,771人 / 18の行政区

世帯数:1,723,409世帯

自治会加入世帯:1,226,969世帯

自治体加入率:71.2%

本日の内容(目次)

- 導入 自助・共助の重要性**
 - I 自助を推進するための取組**
 - II 共助を推進するための取組**
 - III 課題・今後の取組**
- トピック**

導入：自助・共助の重要性

東日本大震災を契機に自助・共助の重要性を改めて認識

横浜市地震防災市民憲章
(平成25年3月11日制定)

自助・共助の必要性・重要性を市民に啓発することを目的に市民検討を経て市民と行政が連携し策定

「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」
(平成25年9月20日施行)

市民及び事業者の「自助・共助」の役割を明らかにすることを目的に制定
※議員提案による

導入：自助・共助の重要性



よこはま地震防災市民憲章
～ 私たちの命は私たちが守る ～

- ・私と大切な人の命を守りたい
- ・周りのためにできることが必ずある
- ・頼みの行政も被災する。

大地震で生死を分けるのは、運・不運だけではない。また、自分で自分を守れない人があることも忘れてはならない。私は、私自身と周りの大切な人たちの命を守りたい。
だから、私は考える。今、地震が起きたら、どう行動しようかと。



不安の中の避難生活。けれどみんなが少しずつ我慢し、みんなが力を合わせれば必ず乗り越えられる。

自助・共助の大切さを訴え

身を守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。多くの犠牲者のためにも、このことを風化させてはならない。

だから、私は次世代に伝える。自助・共助の大切さを。

Ⅰ 自助を推進するための取組

1 これまでの取組

- ① 自助・共助の取組の参考としていただくパンフレット「防災よこはま」や「風水害リーフレット」などの啓発物の作成
- ② 市民の自助に対する補助を実施
- ③ 自助・共助の中核施設である「横浜市民防災センター」における体験学習や研修の実施

1 これまでの取組

①啓発物の紹介(風水害リーフレット)

項目		内容
表面	はじめに	意識の醸成
	ステップ1	住んでいる地域の危険性の把握(ハザードマップ等の確認)
	ステップ2	気象情報・避難情報等の理解
	ステップ3	情報収集手段の把握(横浜市ホームページ、防災情報Eメール 等)
	ステップ4	避難行動の理解(水平避難、垂直避難 等)
	ステップ5	非常時の持ち出し品の準備(マスクや体温計等をリストに追加)
裏面	マイ・タイムライン作成シート	地域の危険性や家庭の状況等に応じた、一人ひとりの避難行動計画を作成

1 これまでの取組

② 「市民の自助に対する補助」の紹介

啓発媒体	説明
家具転倒防止器具の 取付代行	転倒防止器具の取付代行
感震ブレーカーの 設置補助	感震ブレーカーの購入・設置費用の補助及び取付代行
木造住宅の 耐震改修費用の補助	木造住宅の耐震改修費用の補助
建築物不燃化 推進事業補助	「古い建物の除却」や「燃えにくい建物(準耐火建築物以上)の新築」に対する補助

その他自助・共助を支援する補助金はこちらから

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/chikitaishaku/shien/default202005.html>

「横浜市 防災に関する補助金一覧」で検索

1 これまでの取組

③ 「横浜市民防災センター」の紹介

【体験ツアー】

- ・ 災害シアター
- ・ 地震シミュレーター
- ・ 火災シミュレーター
- ・ 減災トレーニングルーム
- ・ 横浜ハザードマップ
- ・ 防災ライブラリー



【防センアカデミー】

要援護者対策や女性の視点を踏まえた対策など、広く市民がテーマ別に防災を学ぶことができる防センアカデミーの実施

I 自助を推進するための取組

2 今年度の強化内容:こどもを通じた啓発

【現状】

研修や地域の防災訓練等において、若年層や子育て世代の参加が少ない。

【取組】

若年層や子育て世代への防災を啓発するために、こどもに対する防災教育を強化

【狙い】

- こども自身への防災教育とともに、こどもが、学んだ内容を保護者に話し、保護者の災害への備えに対する意識も向上
- コロナ禍でも、継続する教育の場を活用

2 今年度の強化内容:こどもを通じた啓発

具体的な取組紹介①:「じぶん防災ハンドブック」の作成



(株) アクセスプロGRESSとの連携により、本市の負担なく小学生向けの「じぶん防災ハンドブック」を作成し、市立小学校の3年生に配布

台風編と風水編の2部構成になっており、各編のワークシートによって、災害時における避難場所や避難行動等を、ご家族で検討できるオリジナルのハンドブック

2 今年度の強化内容:こどもを通じた啓発

具体的な取組紹介②:「防災ゲーム」の作成



小さいお子様にも楽しんで避難行動等を学んでいただけるよう、シリーズ累計770万部の「うんこドリル」を発行する株式会社文響社と連携し、クイズ形式の防災ゲームを開発

うんこドリル「台風編」を市内の小学校・保育園に配布

2 今年度の強化内容:こどもを通じた啓発

具体的な取組紹介③:小学生に対する防災センター体験ツアー

市内の小学校に対して、横浜市民防災センターにて楽しみながら防災を学べる体験ツアーを実施。



ツアーの最後には、家に帰ったあとに体験した内容を家族で話し合ってもらうように伝えている

II 共助を推進するための取組

1 防災・減災推進研修

- ・横浜市には約2,800の自治会・町内会があり、それぞれの自治会・町内会において、防災活動を実施
- ・しかし、各自治会・町内会における取組状況には差があるとともに、自治会・町内会長や防災担当者は必ずしも防災に関する知識があるとは限らない。



平成25年より、地域防災の担い手を育成することを目的として、横浜市の防災施策や地域の取組事例等を紹介する「防災・減災推進研修」を実施

1 防災・減災推進研修

① 体系

【基礎編】

- ・講義(横浜市の防災対策等)
- ・事例紹介(実践的な自主防災活動紹介)
- ・グループワーク(地域特性を活かした行動目標を考える)

【応用編】

- ・基礎編受講者の更なるレベルアップ研修
- ・地域の自助・共助の実践方法を学ぶ。

【支援編】

- ・地域にアドバイザーを派遣
- ・地域の特性や住居種別に応じた研修実施

【事例発表会】

- ・地域における防災・減災の取り組み状況を発表
- ・講師を招いての講演会も実施

1 防災・減災推進研修

事例発表会における発表事例①：地域に防災知識を広める取組

瓦礫の上を歩く体験



搬送訓練



初期消火訓練



心肺蘇生法訓練



1 防災・減災推進研修

事例発表会における発表事例②：地域特性を把握する取組 「まち歩き」の実施 / 地域独自の防災マップ作成



① まち歩きを実施し



② その記録を基に...

地域特性を
把握する。



1 防災・減災推進研修

事例発表会における発表事例③：小・中学生が参加する防災訓練



Ⅲ 課題・今後の取組

1 課題

- ・地域の災害危険性によって必要な取組が異なる
- ・担い手が中心に行う地域防災活動に対する支援が必要
- ・より多くの地域を支援する必要がある



2 課題を踏まえた今後の取組

- 取組①：各地域の災害危険性を把握
- 取組②：各地域の災害危険性に応じた支援
- 取組③：消防署、消防団との連携

2 課題を踏まえた今後の取組

【取組①】地域特性の把握(地域防災カルテの作成)

- ・自治会・町内会ごとに、浸水想定区域や土砂災害計画区域、木造住宅密集地域等、各地域の危険性
- ・訓練や研修等、本市の支援状況を把握

【取組②】地域特性に応じた支援

(例) 浸水想定区域:マイ・タイムラインの作成支援

木造住宅密集地域:感震ブレーカー設置の促成

2 課題を踏まえた今後の取組

【取組③】：消防署、消防団との連携

地域特性に合わせた支援を市内約2,800の自治会・町内会に対して実施するため



各地域に密着している消防署や消防団と連携した支援（日ごろ火災や救急の視点から行う防災指導等の機会を捉え地震火災や風水害の啓発を連携して実施）

トピック1:マイ・タイムライン作成促進に向けた取組

近年頻発する風水害による被害を踏まえ、「逃げ遅れゼロ」に向けて

- ・ハザードマップ等で浸水リスク等を把握し
- ・避難行動計画であるマイ・タイムラインを作成が必要



- ・来年度以降、市民が利用しやすいように、高潮・洪水・内水の3つのハザードマップを1冊にまとめ
- ・まとめたハザードマップと風水害リーフレットをセットで全世帯及び全事業所に順次配付。

トピック2:コロナ禍での啓発

【今年度】

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか研修やイベントの中止による啓発機会の減少

【取組】

自宅等で防災を学べるように、本市ホームページに動画やクイズを学べる学習コンテンツを制作

【効果】

今まで研修等に参加できない方も防災を学ぶことができ、啓発の強化に繋がった。

トピック2:コロナ禍での啓発

【動画】

動画名称	公開日
風水害への備え(マイ・タイムラインの作成)	7月20日
地震への備え(家具転倒防止・感震ブレーカー)	7月20日
新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の避難	7月20日
地域防災拠点の開設・運営	9月30日
マンション防災	2月中予定
町の防災組織の取組	2月中予定

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/pamphlet/0720.html>

※「横浜市 動画で防災を学ぼう」で検索

【クイズ】

「一般の方」、「こども」、「町の防災組織」、「地域防災拠点」、「企業」といった対象別に作成中

ご清聴ありがとうございます。